

運送会社、乗務後のアルコールチェックせず

【山陽道トンネル事故】

2016.3.22 23:57

広島県の山陽自動車道トンネル多重事故で、国土交通省は22日、容疑者(33)が勤務する運送会社への特別監査の結果、容疑者を含む14人の運転手が2月と3月に複数回、基準を上回る時間の連続運転をしていたと明らかにした。国交省は、同社で長距離の過労運転が常態化していた可能性があるとみて調べている。同省の担当者は「早く目的地に着いて休むため、休憩を取らずに連続運転していたようだ」と話している。また同省は、容疑者が遠隔地で乗務を始める際、本来は電話で会社の運行管理者に点呼連絡をしなければいけないのに、連絡しないまま乗務を始めていたことが過去に複数回あったとも明らかにした。同社の運転手42人全員が、乗務後のアルコールチェックをしていなかったほか、健康診断を受けていない運転手がいることも分かったという。特別監査は22日で終了、今後は必要に応じて立ち入り監査などを検討するという。また、広島県警は22日、トラックなどの事故車両と同じ車種を用意し、今後、トンネル内の現場に配置して事故の再現実験をすることを明らかにした。

- 一時停止 ⇒ 二度停止
- 車間距離 ⇒ 前車から4秒間
- 前車発進 ⇒ 2秒後に発進

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分にとろう！ 追突を未然に防止しよう

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”事故に注意しましょう

◇見られていますよ！ あなたの運転◇
◇ドライブレコーダーは乗用車にも普及しています◇

信号待ちのトラックにトラックが追突、炎上

2016年3月22日 12:16

22日午前9時45分、栃木県で、4トントラックに2トントラックが追突し、2トントラックが炎上。2トントラックの運転手が手や足などに軽いけが。警察によると、4トントラックは信号待ちで停止中だった。

大型トラック、停車中のトラックに追突 白バイなどにも追突、4台からむ事故

2016年3月22日(火)20時50分

22日午後1時45分ごろ、滋賀県の国道で、白バイや大型トラックなど4台が絡む事故があり、3人が軽傷を負った。警察によると、大阪市の運送会社の大型トラックが、走行中の白バイと停車中の中型トラックに追突。はずみで中型トラックが前方の交差点で別のトラックに衝突した。白バイの交通機動隊の男性巡查部長(32)と、中型トラックの男性運転手(49)と同乗者の男性(57)が肩や足を打撲した。

見通しが悪く信号機のない交差点 出会い頭に衝突 墓参りの途中、軽の後部座席の母親死亡

2016年3月21日(月)9時1分

20日午前11時55分、福島県の交差点で会社員の男性(54)の乗用車と、介護ヘルパーの女性(63)の軽自動車と衝突した。軽自動車の後部座席に乗っていた女性の母(89)が全身を強く打ち間もなく死亡した。女性は右手の骨を折る重傷、男性と同乗の男性(18)はともに軽傷。警察によると見通しが悪く信号機のない十字路交差点で出会い頭に衝突したとみられる。男性は工作中、女性は墓参りに向かう途中だったという。

目を離した間に、子どもが道路に飛び出した 4歳の男児が乗用車にはねられ死亡

(2016/3/20(日) 22:23)

20日午後6時半ごろ、大分県の広域農道で道路を歩いて横断していた4歳の男の子が乗用車にはねられ死亡しました。現場は片側1車線の見通しの良い直線道路で緩やかな下り坂となっています。警察によりまずと男児の両親は「目を離した間に子どもが道路に飛び出した」などと話しているということです。警察は車を運転していた男性から当時の詳しい状況を聞き事故原因を調べています。

自転車の小4男児はねられ重体 自転車と車は、同じ方向に走っていた

2016.3.22 07:03

20日午後1時40分ごろ、鹿児島県の国道で自転車に乗った小学4年生の男児(10)が会社員の男性(22)の軽乗用車にはねられ、重体となった。現場は片側1車線の直線で、自転車と軽乗用車は同じ方向に走っていた。